



白い砂浜で競争だ！

～小砂川保育園ジャンボかるた取り～

6月20日、小砂川海水浴場で園児とお父さんたちによるジャンボかるた取りが行われました。このジャンボかるたは、工房海鵜の郷・熊木昭夫氏（大須郷）のお手製で、園児たちの年中行事や市の風景などが題材です。

青空の下、白い砂浜にジャンボかるたが散らばり、お題が読み上げられると、園児とお父さんたちは一斉に駆け出し、正解のかるたに飛びきました。そして、この日のかるた取りは園児たちが大勝利を納めました。

このあと、磯で行われたカニ釣りでは、童心にかえり園児以上に楽しむお父さんたちの笑顔が見られました。

お父さんたちには負けられないぞ！



工事が安全に進むよう祈願されました

来春のオープンを目指し

～にかほ市観光拠点センター（仮称）安全祈願祭～

6月12日、道の駅象潟「ねむの丘」の敷地内ではにかほ市観光拠点センター（仮称）建設工事の安全祈願祭が行われ、市および観光関係者、建設業者ら約40人が出席し建設工事の安全を祈願しました。

この施設には、にかほ市観光協会と市役所の観光課が入居し、市の観光情報の発信と案内業務の一元化を目指します。また、現在より6店舗多い15区画の店舗スペースを確保し、道の駅と同様に多くの観光客や市民が利用しやすい交流の場としても期待されます。来春オープンを目指すこの施設の愛称も気になりますね。

これからも唄い継ぐ「秋田草刈唄」

～第20回秋田草刈唄全国大会 in にかほ～

6月20日、仁賀保体育館で「第20回秋田草刈唄全国大会 in にかほ」が開催されました。これは、にかほ市で古くから唄い継がれてきた民謡「秋田草刈唄」の普及と伝承を目的に毎年開催されており、今年の20回記念大会には146人の唄い手が出場しました。

今回、大賞の部で決選進出した20人の中から、見事優勝に輝いた浜口優花さん（大仙市）は、「4回目の挑戦にして、さらに20回の記念大会で優勝出来たことが嬉しい」と目を潤ませながら優勝旗を手にし、大会の最後を飾るアンコールの「秋田草刈唄」を熱唱しました。



会場に歌声が響く（大賞の部優勝者：浜口さん）

芭蕉ゆかりの名勝、景観保全を

～TDK社友会による島守りボランティア～

6月17日、TDK社友会の皆さんによる国指定天然記念物象潟“九十九島”の下刈りや清掃を行う島守りボランティアが開催されました。

全部で103島ある九十九島ですが、一部の島には、その島を管理する島守りがいて、TDK社友会では、芭蕉『おくのほそ道』ゆかりの国の名勝に指定された「能因島」を含む4島を管理しています。

晴天のもと、草刈機や鎌を手にした28人のボランティアの皆さんにより下刈りが行われた4島は、これからの観光シーズンを迎える準備が整ったようでした。



かつて芭蕉主従が船を寄せた能因島

国内屈指の難コースに挑む！

～第2回鳥海山ブルーラインヒルクライムfrom日本海～

6月20、21日にかけて、自転車登坂レース「第2回鳥海山ブルーラインヒルクライムfrom日本海」が遊佐・にかほの2ステージで開催されました。

2日目のにかほステージは、にかほ市役所象潟庁舎から鳥海山5合目・鉾立を目指す全長20.1kmのコース。標高差は1,150m、平均斜度7.5%という国内屈指の難コースとされています。

にかほステージにエントリーした146人の屈強なヒルクライマーたちは、勝利の“頂ぎ”を目指し、己の限界を超えてペダルを踏み続けていました。



まだまだ序盤。勝負はこれから！



夜を徹して捕られた新鮮な地魚がズラリ

地物鮮魚を安く直売！

～朝市開催～

6月20日、金浦漁港で地産鮮魚の消費拡大と漁業の振興を図るため、地元漁師さんが新鮮で旬な地魚を格安で直接販売する朝市を開催しました。

朝6時の販売前から並んでいた約60人の買い物客は、直売が始まると威勢のいい地元漁師さんの声に吸い込まれるように、新鮮な地魚を買い求めていました。

今回、地元漁師が底引き漁で捕れた旬の魚を直売するのは初めての試み。両手一杯に買い物袋を抱えたお客さんからは、「安くて新鮮！またやってほしい」と次の開催を期待する声が聞かれました。